



# 磐梯町の展望

磐梯町40年。次のステップを目指してー

氾濫する情報の波と技術革新は、この5年、10年で加速度的に大きく生活様式を変えてきました。便利であることは豊かさの象徴ではあるのかもしれませんが、ひとが心地よく暮らせる条件のある一部でしかありません。人と人の触れあい、ふと安らげる自然の美しさと調和のとれた町なみ。「磐梯町」というひとつの共同体は固有の資源や財産を生かしながら、町民総参加の新たな町づくりを21世紀に向けて目標にしています。



昭和32年に子供が書いた「夢の大寺」

定住と交流のさかんな、  
魅力あるまちづくりを  
目指して。

## ●過疎対策の推進

人口の減少と高齢化は地域の活力の減退につながっていくと予想されます。町では新規就農者の拡大など定住人口の増加と、観光・リゾートの振興により若者の定住と交流を促進していきます。



住み易く、  
安全であることが  
何よりの条件。



## ●市街地及び生活環境の整備充実

駅前開発推進を核に、土地利用の見直しや景観・まちなみの整備をはかることで、賑わいのある中心市街地をつくりだすとともに、多様なニーズに対応する公営住宅やバリアフリー住宅の整備やインフラ整備対策の促進をはかります。

